

Stage Up



シリーズ「市内美術館・博物館とその所蔵品から」
歌川広重「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」
川崎・砂子の里資料館所蔵

誌 上 ギ ャ ラ リ ー

川崎・砂子の里資料館は旧東海道沿いにあり昨年開館10周年を迎えた私立美術館、川崎市観光協会連合会会長でもある斎藤文夫館長の浮世絵コレクションを中心に企画展示をしています。

この浮世絵は初代歌川広重の作品「東海道五拾三次」のうちの「川崎 六郷渡舟」です。六郷の渡しは東海道を旅する人々、川崎大師へ参詣する人々で賑わいました。大師詣では江戸から一泊あるいは日帰りも可能で、女性にも人気があったようです。

抒情性豊かなこの浮世絵は、当時の川崎宿周辺の様子、人々の暮らしぶりや風俗を雄弁に物語っています。

所在地：川崎区砂子1-4-10 京急川崎駅徒歩3分 電話：044-222-0310
休館日：日曜・祝日・8月・年末年始 入場：10時～16時 無料

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
“かわさきマイスター”
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

<http://www.kpal.or.jp/>
ステージ・アップ TEL 044(733) 5811
E-メール: stage-up@kpal.or.jp

まち・ひと・多面体

川崎市外国人市民代表者会議

～外国人の住みやすいまちは、日本人にも住みやすい～

2011年度
オープン会議
の取組から



2012年6月末現在、川崎市内には120カ国31,061人の外国人が暮らしています。全市民に占める割合は2.16%になります。

外国人市民代表者会議は、地域社会のかけがえのないメンバーである外国人市民が、自分たちに関する問題を話し合い、共に生きる地域社会を目指して作られました。1996年の第1期から数えて今は第9期(2012.24.4～)、公募を経て選ばれた20の国籍・地域、26人の代表者が、社会生活部会、福祉・教育部会を構成して活動しています。活動は市長に「年次報告」として提出され、議会にも報告された後、市民に公表されています。これまで「外国人と日本人の子どもの相互理解教育の推進」など、各期ごとに貴重な提言がされてきました。

提言された課題は市役所各局や教育委員会が担当局となり、実現に向けて取り組みます。取組状況はA(一定の成果を得たもの)・B(取組中・検討中)として示されています。

2011年11月20日、市民等の意見を聞いて審議の参考にする“オープン会議”が開かれました。

主催者である第8期委員長オパンゴ デケさん(コンゴ民主共和国出身)と担当局である山崎市民・こども局長のあいさつ、第8期メンバーの自己紹介の後、「川崎市における国際化～多文化共生の実現に向けて地域住民としてできること～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

各パネラーからは2005年に策定された「川崎市多文化共生社会推進指針」の理念を行動に移すことの大切さ、NPO法人KFV(川崎外国人市民ボランティア)の活動紹介、市民として「こどもの権利委員会」「ホームレス委員会」活動等に参加して感じたことなどの発表があり、フロアとの意見交換が行われました。外国人と日本人のトラブル例、原発事故等についての外国人向け情報伝達上の課題、民族文化講師ふれあい事業の成果など、短時間に中身の濃い意見交換が行われました。

会場の高津市民館大会議室は満席、関心の高さがうかがわせる熱気に包まれていました。今年のオープン会議は12/9(日)14時から川崎市産業振興会館で開催予定です。
◇問合せ先:市民・こども局 人権・男女共同参画室 044-200-2369



伝えよう 学びの力

～宮前市民館菅生分館25周年を迎えて～

今年4月、1987年に開館した宮前市民館菅生分館が25周年を迎え、祝う会が行われました。手作りの記念誌「伝えよう 学びの力」には、地域の人たちが支えてきた分館の歴史と皆さんの思いが詰まっていました。



満開の八重桜のもとで行われ祝う会第1部。た祝う会には、分館開館以前から弦楽四重奏と保育園児の歌からこの地域で活動をしている人たちが大勢参加していました。分館との長い付き合いの中で何を思い、何を感じ、何を大切にしてきたか…司会者が向けるマイクに向かって、参加者はそれぞれの人生を振り返るように、熱く語っていました。

住民の要望で、開館20年前の1967年に廃止された向丘小学校分校のプレハブ教室を活用して、「高津公民館菅生分館」が開設されました。途中10年間ほど「菅生分室」と名称が変更された時期があり、75年末、当時の利用者が「菅生分室を盛り上げる会」を発足させました。老朽化が進み改築か廃止かとい

う話になった時には、この会が中心となり、分館の大切さ、分館への思いを伝えることで、充実した施設として継続・発展させることができたことと聞きました。今、菅生分館は地域の人々の誰もが利用しやすい施設、集いの場、活動の場として大切に使われています。

「盛り上げる会」で活動をしていた友納(ともな) 緑さんは「大きなことをしたいと思ったわけではありません。最初は本を読みたい、子どもに読ませたいという純粋な気持ちから始まった活動です。当時は田園風景が広がるだけで、今のように何でも情報が手に入る時代ではなかったですから」と話していました。住民の間にも考え方の違いなどが様々にあったとのこと、それでも、互いに理解しあい、歩み寄りあって、現在があるそうです。



友納 緑さん

節目の25周年を迎え、新たな展開を模索中とのこと。「誰もが集える分館に向けて地域の人たちと職員の協働によって盛り上げていきたい」と語る西山和美館長の言葉に、地域に根差した分館の力強さと活動の広がりを感じました。
■菅生分館 044-977-4781



記念誌「伝えよう 学びの力」

市内で活動の輪を広げている 総合型地域スポーツクラブ



川島中S.C.の
カラーリング大会

平成7年に文部科学省のモデル事業として始まった「総合型地域スポーツクラブ」(以下、「総合型クラブ」という)の取組が川崎市内でも広がっています。総合型クラブは身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのクラブ、(1)子どもから高齢者まで(2)様々なスポーツを愛好する人々が(3)初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持っています。総合型クラブは各区に立ち上がっており、生涯スポーツ社会の実現を目標に、ボランティア精神と会費制による自主運営を基本として、熱心でユニークな活動を展開しています。設立以来幅広い取組をしているクラブから、誕生もないクラブまで、いくつかのクラブを訪ねてみました。

高津総合型スポーツクラブ SELF

Sports-Enjoy-Life-Friendlyの頭文字をとって名付けられたSELFは、2004年に設立、2006年にはNPO法人になりました。市内第1号の平間スポーツレクリエーションクラブに次いで古いクラブです。

SELFの拠点は高津中学校内にあります。高津中・東高津中・久本小・坂戸小の施設開放を活用して、月曜日から日曜日まで各種スポーツはもとより、英語・茶道・囲碁の教室やフラ&ウクレレ教室など、広く文化活動にも取り組んでいます。中学生以下500円、大人1,000円の月額会費でどの種目にも何回でも参加できます。



5月のある木曜日の夕刻、高津中学校を訪ねました。武道室ではキッズ&チャンバラの活動。幼児から小学生までの子どもたちが、ウレタン製の刀を使ってのびのびと体を動かしていました。その後で行われた大人の部は殺陣(たて)剣術、プロの指導で殺陣の基本を学びます。



体育館ではバドミントン、サブグラウンドでは硬式野球と、楽しくも真剣な活動が展開されていました。

SELFのコンセプトは「地域の遊び場」、仲間がいるから一緒にやるのではなく、ともに楽しんで仲間が広がる...そんな活動を目指しています。

中野島総合型地域スポーツクラブ ビルネ

ビルネとはドイツ語で梨(ナシ)のこと、中野島地区の名産品にちなんだとか。2008年、体育指導員で活動していた柳田利幸さん等が発起人となり、町会・自治会・青少年指導員・子ども会・教職員等とともに準備会を立ち上げてスタートしました。月1回運営委員会を開いて活動を推進しています。ビルネもSELFと同様、入会すればどの活動にも参加できます。



的を
めが
けて
吹
矢

中野島公民館でスポーツ吹矢教室を見学しました。

男女会員が約20人、カーボン製の120cm程の筒にプラスチック製の矢を挿入、6m~8m先にある的に当てるのです。公認指導員の指導の下で準備運動・ストレッチをした後、5本の矢を的に当て、点数によって競い合います。集中力が養われ、腹筋運動で健康も増進、心身に良いスポーツのようです。

中野島小学校体育館ではフロアボールの活動中。



約30人の小中学生が7cmほどのプラスチックボールをスティックで打ってゴールを目指します。転がしたり浮かしたり自由自在。ビルネで培った技を基にチームを結成、世界で活躍する選手の輩出を目指しています。

川中島総合型スポーツクラブ

約1年の準備期間を経てこの春に設立した川中島スポーツクラブ。町内会、スポーツ推進委員、PTA、地域教育会議等にかかわってきた住民等が互いに協力して活動を進めています。カラーリング・よさこいソーランダンス・ボール遊び等に加えてヨガ教室もスタート。取材の日はいにく



の雨。しかし、主催者の心配は杞憂となり、中学校の特活室は満員の盛況でした。インストラクターの明るく丁寧な指導の下、呼吸を整えながら骨格・筋力のバランスを整えます。小学生から年配者まで、美容と健康を願って頑張っていました。各種目とも毎回100円払えば自由に参加できます。



お姉ちゃんと一緒に
赤ちゃんもヨガ

6月にはクラブ主催の「いきいきかわさき 区提案事業」カラーリング大会にも取り組みました。NPO法人エルフォスタ川崎との協働でフラッグフットボール教室も開いています。

〈上記以外のクラブ紹介〉◆平間スポーツレクリエーションクラブ(中原区) ◆わ・わ・わ・クラブ(麻生区) ◆幸総合型地域スポーツクラブ・PLUM(幸区) ◆かわさきスポーツドリームズKSD(中原区) ◆菅生スポーツ・コミュニティ・クラブ(宮前区)

※お問合せは各クラブのホームページ等をご利用ください。

特集

マイスター
匠(たくみ)展・
技能フェス
ティバルで
出会った

かわさきマイスター

せきど ひでみ
関戸秀美さん〈神社寺院銅板屋根工事〉

多摩川に程近い関戸さんのお宅、この日も1階の仕事場で真新しい銅板を加工していました。あざみ野にある徳川家ゆかりの満願寺本堂銅板屋根工事の葺地(ふきじ)部分、「唐草」の下拵え(こしらえ)です。関戸さんはこれまで迎賓館赤坂離宮・鶴ヶ岡八幡宮・大山阿夫利神社等神社仏閣の修理改修に携わってきました。



屋根に取り付ける魔除け「若葉型唐破風(からはふ) 鑄鬼(しのぎおに)」



登戸生まれの関戸さんは、板金職人だった叔父の仕事に興味を持ち、誘われるままにその道に入りました。幼いころから手仕事に興味のあった関戸さんは、7年間の修行を終え、さらに外に出て経験を積みました。その間、夜学の建築科に通って製図の勉強もしたとのこと。ご自身は「大器晩成型かもしれない」と言いますが、努力なくして花開くはずありません。責任ある仕事が次々に入ようになりました。

銅板の薄板に微妙な曲線をつけたり、ふくらみを出す手加減はたいそう難しそうです。そんな技を機会あるごとに若い人たちに伝えています。「高所での作業などが難しくなったら『伝統工芸展』などに出品する作品にも挑戦したいと思っています」と語る関戸さん、すでにその世界への挑戦も始まっています。

☆仕事場：多摩区登戸新町67-1 Tel. 044-922-5064

※毎年11月3日文化の日前後に日本民家園で伝統技術・技法を保存継承する会の人たちが技術・技法や作品の紹介等を行っています。

かぎ やい せいきく
鍵屋清作さん〈金属へら絞り〉



へら絞りで仕上げた洗面台の排水部

「へら絞り」というのが鍵屋で、自在に加工する技術が東京へのあこがれもあって以来、この道一筋です。その間苦勞もあつた課題、可能性に挑戦することが楽しくもなりました。

図面一枚を手がかりに完成までの工程をこなす。昔と違って1種類の成に挑戦できるのが楽しいとのこと。エスタでは隣で奥様も手伝っていらっしやう。歩も一緒です」とうれしそう。まだまだ

☆仕事場：高津区

こばやし のぶみつ
小林伸光さん〈和服洗い張り〉

曾祖父の代からこの地で藍染め(あいなぞめ)さん、昔は家の前に二ヶ領用水(川崎堀)が流れていました。

和服姿がよく見られた時代は、人々に近なものでした。洗い張りとは着物を一枚一枚の作業のこと。「絹物はブラシで水洗いを当てて(湯のし)伸ばしますが、大島の洗い張りはしんしばり」と解説してください。



職人としての腕を磨いてきました。職人としての腕を磨いてきました。職人としての腕を磨いてきました。

☆仕事場：川崎

いしわた ひろのぶ
石渡弘信さん〈手描友禅〉

糊で輪郭を描いたあと色付けをし、糊の線を洗い落として染め上げる友禅染め。かわさきマイスターであり経済産業省認定伝統工芸士でもある石渡さんの仕事場には、日本画家同様たくさんの絵筆と色絵具、布を張る竹ひごなどが置かれていました。仕上がった帯地を何本か見せていただきましたが、その鮮やかな色彩と構図・デザインセンスには驚嘆させられました。



金箔も施された帯地

家庭の事情もあって早くから社会に出た石渡さんは当初印刷所に勤めました。しかし、「組織の中で仕事をするには馴染めない」との本人の思いがあって早々に転職、祖父がやっていた紺屋(こうや：藍染を中心とする染物屋)に職を得たことが今日につながったのです。



当時はいわゆる徒弟制度の時代。見て学ぶにもその時間さえ確保できません。「内なるものを少しずつ蓄えていったように思います。初めて仕事をさせてもらったときの喜びは忘れません」とのこと、その後一緒に仕事をしていた叔父が独立、その叔父とともに本格的に友禅に取り組むようになりました。

「三代先まで着られるような流行に左右されない作品を作り続けたい」「それぞれの国・民族の違い、"特性"というものを互いに理解しあえることがグローバル化だと思う」と言う石渡さんの言葉を深く心に刻みました。

石渡さんは現在高津区文化協会に属しています。学校での取組やものづくり・日本文化の継承に貢献したいと熱い思いを語ってくれました。

☆仕事場：高津区二子4-19-10 Tel. 044-822-9368

おおはし あきお
大橋明夫さん〈プレス順送・金型設計〉



パソコンを使って金型設計

東北生まれの大手企業に勤めた今、清く正しく、うちは見よう見まねで、テク産業の世界で活躍しています。大橋さんの仕事は、生産を念頭に置き、金型を設計することです。できた金型を

(順送)、プレスして製品にしていきました。立体的に成型する高度な設備です。扱うプレス機の加圧力は10t~150tの間隙は板厚の5%程度という精密さです。

この会社にはマイスターがもう1人、こうした職人が文字通り技術立国日本を支えています。☆仕事場：川崎区藤崎3-14-2 (株)クレ

を訪ねて

のは金型にあてた金属板に頑丈なへらをあ
 研。「直径5mmから1,500mmまで引き受け
 さんの勤める(株)今野工業です。鍵屋さんは、
 って秋田県から叔父の経営する工場にやって
 50年のマイスターで
 たものの、常に新し
 、今日まで続けてこ
 親に感謝です」と語



を思案・工夫する鍵
 口注文は減ったけれど、その分多種類の形
 異なからこの仕事が好きなようです。技能フ
 っきました。「いつもついてくるんです。散
 電はさびません。

野毛 2-14-18 (株)今野工業) Tel 044-811-7204

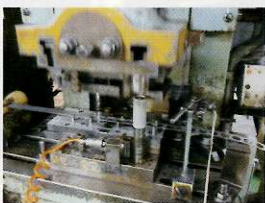
め)を始めたという小林
 が流れていたそうです。
 によって「洗い張り」も身
 端ほどき、洗って汚れを落とし、乾かす一連
 とすると生き返ります。縮緬(ちりめん)は蒸気
 ような布地はヒゴで張って伸ばします(伸子
 ました。伸子張りに使う竹ヒゴは京都から
 の道具も手に入りにくい時代になったよう
 は洗い張りではかクリーニングできません。
 いる人も今では市内に数人とか。それでも小
 中学校の体験教室・職業講話などに全面的に
 後世に伝える努力を惜しみません。



東門前 1-10-14 港屋京染店 Tel 044-266-3625

計製作)

崎さん、就職難の地元を離れ、先輩が勤めて
 精器=現(株)クレール)に入りました。初め
 の、勉強を重ね、熱心に技を磨き上げてハイ
 マイスターと呼ばれるまでになりました。
 は依頼先からの受注品を、工程の省力化・量
 ながら金型の設計をし、それを形づくるコ
 プレス機にセットし、金属板を順に送り出し
 。平面的なプレスだ
 ・製作力が必要な
 、金型の凸部と凹部
 。
 平賀正明さんです。
 ていますのです。



ル) Tel 044-244-5231 金属板を順送り高速でプレス

かわさきマイスターとは…?

川崎市では極めて優れた技術や卓越した技能を発揮して市民生活を支
 える“ものづくり”をしている技術・技能職者を「かわさきマイスター」に認
 定し、すばらしい匠(たくみ)の技術の継承や超一流の技能の普及・振興活
 動を支援しています。

平成9年度に5人のマイスターが認定されて以降、平成23年度に認定さ
 れた方を含めて現在67人のマイスターが誕生しています。マイスターは各
 区の区民祭やかわさき市民祭り、学校や市民向け講習会など、さまざまな場
 で市内最高峰の匠(たくみ)の技を伝えています。

今回は、「マイスター匠展」(毎年9月初めに多摩区役所で開催)や、「てく
 のかわさき」で開催された「てくのかわさき技能フェスティバル」(毎年9月
 の最終日曜日開催)でお会いした何人かのマイスターの仕事場をお訪ねし、
 取材させていただいたものを特集して紹介します。

今回ご紹介する方々のほか、マイスターは美容・表具・特
 殊ガラス製作・製缶・溶接技術・調理・フラワー装飾・石工・食
 肉加工・洋菓子・精密測定工具仕上・靴製造・内装・金属塗
 装・和服仕立など、多分野から認定されています。詳しく紹
 介した冊子も入手できます。➡

★問合せ先★

川崎市経済労働局技能奨励担当 Tel 044-200-2242



栗田佐穂子さん〈洋裁・介護服〉

栗田さんは生後まもなく、教員をしていた両親らとと
 もに朝鮮半島から引き上げて来ました。

両親が立ち上げた登戸ドレスメーカー学院が認可され
 たのは昭和26年のこと、「門前の小僧」として洋裁の修
 行を重ねた栗田さんは、両親にほめられ励まされながら
 技量を磨いていきました。

「全ての人におしゃれで着やすい服を提供したい」とユニバーサルフ
 ャッションに力を入れる栗田さんは、様々な施設・病院・個人宅等に出
 向き、障がいなどの実態にあった工夫を実地で重ねていきました。手が
 不自由な人でも着脱しやすい防寒マントやネクタイ、エプロンやラン
 チョンマット…、次々と製品化していきました。機能性だけでなくおしゃ
 れ心も大切にします。車椅子に乗ったままでも着れるもの、食べこぼし
 をさりげなくフォローできるものなど、人の身になって
 アイディアを練るのです。

市の施策への協力、小中学校との交流、ボランティア
 活動…、栗田さんのエネルギーはあふれ続けています。

☆仕事場：多摩区登戸2130-2 アトラスタワー向ヶ丘遊園2F
 登戸ドレスメーカー学院・アソシエCHACO

Tel 044-900-8844



着脱の楽な男性用
おしゃれエプロン

第16回“てくのかわさき技能フェスティバル”から

23年9月25日、毎年9月の最終日曜日に溝口にある「川崎市生活文化会館
 てくのかわさき」で行われている「てくのかわさき技能フェスティバル」を
 訪ねました。玄関前スペースから地階～5階までマイスターの実演・展示・販
 売や市内の各種工業会の人たちの出店で大にぎわい。

陶芸教室や泥ダンゴづくり、親子工作教室、食品
 サンプルやペンダント作り体験、木工教室、着物の
 着付け教室など盛りだくさん。飲食業生活衛生同
 業組合が焼きそば・焼き鳥のテントを出していま
 した。大人も子どもも十分に楽しめるイベントで
 す。



施設めぐり

市内公的施設および当財団が管理運営する施設のご紹介

高津市民館

JR南武線武蔵溝ノ口、東急田園都市線溝の口駅前 NOCTYプラザ2 11・12階

☎044-814-7603

高津市民館は、市民の皆さまの自主的な学習・文化活動を支援する生涯学習の場です。ホール・会議室などの貸し出しのほか、これから赤ちゃんが生まれる人から子育て中の人、子ども、大人、高齢者、外国人市民、障がいのある人など、さまざまな世代や立場の人を対象とした各種事業を実施して、地域の皆さまの『学ぶ場、集う場づくり』を支援しています。

年間を通して、さまざまな講座や学習会、イベントなども開催しています。地域の身近な生涯学習支援の拠点として市民とともに歩んでいます。

問合せ:高津区役所こども支援室 861-3291

《これからの主なイベント》

問合せ:高津市民館 814-7603

★高津区こども・子育てフェスタ★ 11月17日(土)10:30～
乳幼児から小中学生と保護者を対象に、各種展示・イベント・学習・講演会など盛りだくさん!



〈大ホールイベント〉
「次の世代を担う子どもたちの夢と希望を拓く宇宙への挑戦」
講師:元宇宙飛行士 山崎直子氏
主催:川崎西ロータリークラブ 及びフェスタ実行委員会

★多文化フェスタみぞのくち2012★ 10月20日(土)10:30～
障がい、文化などの違いのある人たちが集い、出会い、「ともに生きる」豊かな多文化共生社会を築く場です。多文化ステージ・各国料理屋台・作品展示販売・多言語による絵本の読み聞かせ・写真展・交流展示など、お楽しみに!



★多文化共生コンサート★ 12月8日(土)14:00～16:00

幸スポーツセンター

JR川崎駅西口、武蔵小杉駅前からバス「幸区役所入口」下車徒歩3分

☎044-555-3011

いつでも誰でも安心!健康維持・体力向上・シェイプアップを手軽に!

幸スポーツセンターでは、スポーツデー、トレーニング室、スポーツ教室等、個人で利用できる種目を曜日ごとにご用意!またトレーニング室では様々な目的の方が利用できるマシンが揃っています。スポーツ教室では、午前・午後多くの教室を開催し、誰でも参加しやすい教室が自慢です。



- 利用時間:午前9:00～12:00・午後13:00～16:30・夜間17:30～21:30 ※スポーツデー21:00迄
- 利用料:大人(20歳以上の方)200円・小人(20歳未満及び学生)100円
- 利用資格:スポーツデー/小学生以上 ◇体力作りコース/中学生以上 ◇トレーニング室/中学生以上



【施設紹介】 ●2F/小体育室・研修室(第1～第3) 1F/大体育室・トレーニング室
【主な種目】 ●バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・体操/トランポリン ●エアロビクス・はつらつ体操・フットサル教室・親子スポーツ教室・ヨガ教室など、ほかにも幅広い種目が多数あります!

※詳細は窓口まで! ※休館日:毎月第4月曜日

青少年の家

東急田園都市線宮崎台駅下車徒歩12分 ☎044-888-3588

宮前平駅・宮崎台駅・向ヶ丘遊園駅からバス便あり

宿泊しながら研修ができます!



青少年の家は、団体の宿泊研修等を通じて健全な青少年の育成を図ることを目的としている施設です。勉強会や社員研修、サークルの練習等、子どもから大人の方まで幅広くご利用いただくことができます。座学用の各研修室以外にもプレイホール、音楽室、創作活動室といった目的に応じた活動室をご用意しています。みなさまのご利用をお待ちしております。

★宿泊利用料(1人1泊につき)★

5歳～小学生	300円
中学生	400円
高校生	800円
大学生&一般	1,500円

※川崎市外の団体については5割増となります。

※宿泊利用時間:入所日13時～退所日12時

※休館日:年末・年始(12/28～1/4)、施設点検日



上:宿泊室
右:浴室

上:プレイホール
左上:音楽室
左:創作活動室

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

シリーズ 市内の短大・専門学校「市民向け生涯学習の取組」③

外語ビジネス専門学校

川崎区駅前本町22-1 (JR川崎駅下車徒歩4分、京急川崎駅前)

☎044-244-3111

外語ビジネス専門学校は、昭和23年に川崎市民米語学校として創立し、60年以上語学教育の歴史と実績をもつ専門学校です。英語を中心とする語学分野だけでなく、IT&WEB、貿易観光、ホテルブライダルなど、様々な分野の専門スキルを身に付けることができます。神奈川県初の「単位制専門学校」として、川崎の生涯学習拠点を目指しています。



【生涯学習サポート】



■履修科目相談 昼間部・夜間部を問わず、学びたい内容や予定や予算に応じて自由に履修できます。学歴や年齢による履修条件はありません。



■教材/学習環境 オリジナル教材/NETde学習などオンラインで学習できるクラスもあります。



■履修認定制度 定められた出席時数・成績を満たす場合、専門課程の単位履修認定が可能です。



■資格取得支援 各種資格検定の団体受験、校内受験が可能です。TOEIC IP、TOEIC SW、TOEFL iBT、実用英語技能検定、ITパスポート試験(国)、基本情報技術者試験(国)、MOS等

●川崎市教育委員会連携事業 (これから募集するもの)

★外国人と英語であそぼう：平成24年12月8日(土) 14:00~16:30

★国際交流会：平成25年1月26日(土)予定 ※詳細はお問合わせください。



初めての陶芸体験教室

平成24年度
受講生募集
川崎市生涯学習プラザ

初めて陶芸に取り組みたいと思っている人に朗報です。初心者対象の講座ですので、ゆっくり・じっくり進めます。粘土をこねるところからスタートし、釉(うわぐすり)掛けまでの工程を5回で完結します。陶芸はお仕事帰りのリフレッシュにも効果的です。

◆募集定員：手びねりコース 10名 (定員を超えた場合は抽選)

◆指導者：陶芸家 三宅直子先生

◆会場：川崎市生涯学習プラザ 地下実習室 JR南武線・東急東横線/武蔵小杉駅から徒歩12分

※住所は下記「申込先」と同じ

◆実施期間と時間：①11/13 ②11/20 ③11/27 ④12/11 ⑤12/18

すべて火曜日の午後18:30~20:30

※全回出席が受講条件です！

◆対象：18歳以上の方(市内在住・在勤者を優先) 陶芸が初めての方に限ります！

◆受講料：8,000円(受講料に含まれるもの→粘土代・焼成料・釉薬代など)

※陶芸で使用する小道具は当方で用意します。

◆申込方法：往復ハガキに①お名前(ふりがな)②住所③電話番号④「初めての陶芸体験教室」と記入の上、お申し込みください。

◆申込先と期限：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

川崎市生涯学習財団 事業推進室『陶芸教室係』あて

◆問合せ先：(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室 陶芸教室担当

TEL 044-733-5893 FAX 044-733-6697 Eメール academy4@kpal.or.jp

10/27(土)
必着



あ と が き

川崎市の人口は平成21年度には140万人を超え、24年8月現在144万人に近づきつつある。そのうち外国人市民は約31,000人、市立小中学校に通う児童生徒も750人を超える◆7月からは外国人登録がなくなり、外国人も住民基本台帳に入るという「新たな在留管理制度」(法務省入国管理局)がスタートしたが、外国人を取り巻く環境にはデリケートな課題がいろいろとあるようだ◆小誌では6月号で日本語ボランティアの取組を紹介した。本号では外国人市民代表者会議について紹介し、市の外国人施策の一端にふれた。学校では日本語が不自由なまま編入・入学してくる子どもたちのために、日本語指導教室の設置、日本語指導等協力者の派遣などで対応している◆ご近所に慣れない日本の暮らしに戸惑っている外国人はいないだろうか。各区相談窓口や総合教育センター担当等につなげてほしい。「困っているときはお互い様」の精神でいきたい。



かわさき市民アカデミー フェスタ'12

毎年恒例となっているフェスタでは、各講座・ワークショップの受講生の皆さんが、日頃の学習成果をご紹介し、地域の方々と一緒にフェスタを盛り上げます。ぜひ、ご家族・お友達とご一緒にお越しください！

◇ 今年のテーマ ◇ 地域と共にきらめくフェスタ'12

- 日時：2012年11月17日(土) 12時～16時
11月18日(日) 10時～16時

■ 内容：

基調講演：「中国と日中関係－歴史と現在、そして今後の可能性」
 講師：東京大学准教授 川島 真氏
 井上ひさし作「水の手紙」の群読、シネマカフェ&トーク「宮城からの報告」、こども理科教室、アートジュエリーづくり、油絵・切り絵作品の展示、中原区文化協会のブース、フリーマーケットなど盛りだくさん。

- 場所：川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町 514-1

◆お問合せ：044-733-5590 NPO法人 かわさき市民アカデミー

※ 当日は東日本大震災復興支援グッズ「瓦(が)Re:KEYHOLDER」(陸前高田のがれきから作られたキーホルダー)他の販売もします！



アートジュエリー
 身近にあるきれいな石やガラス玉をお持ちください。ワイヤーで巻いて素敵なペンダントやピアスに変身させます。



世界が、
混ざり合う。



Blend is Beautiful.

